

神奈川工業会 会報

令和6年1月18日



謹賀新年

会長、関係行政機関長の年頭挨拶

- | | |
|--------------|--------|
| ・神奈川工業会会長 | 桐ヶ谷 修幸 |
| ・横浜市長 | 山中 竹春 |
| ・神奈川県長 | 日比野 政芳 |
| ・神奈川県消防庁長 | 藤沢 直樹 |
| ・神奈川県警察庁長 | 松永 安則 |
| ・横浜北労働基準監督署長 | 大屋 季之 |

新規入会企業のご紹介

神奈川工業会活動報告





年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。また、旧年中は会員の皆様方にご理解とご高配を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシア・ウクライナ戦争が長期化に陥っている中、10月にはハマスがイスラエルに大規模攻撃を仕掛けイスラエル軍はガザへの空爆や地上侵攻で報復し人道危機が深刻化しています。それに加え世界各地で自然災害が多数発生し多くの死傷者を出しました。

そんな中、3月にはWBCが日本で開催され3大会ぶり3回目の優勝を果たし、これには日本中が大いに盛り上がりました。また5月8日にはコロナウィルスが2類から5類に移行され平常な日常に戻りました。

一方、経済面では円安基調が続き、それに伴い物価高が進みデフレから脱却しつつありますが、我々の所得がそれに追いついていないのが現状ではないでしょうか。

10月26日に横浜市工業連合会では「令和6年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を手交いたしました。その中には我々の重点要望・一般要望に加え2027年国際園芸博覧会への参画も上げています。

横浜市では「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」開催されますが、世界中から1,000万人を超えるお客様をお迎えするこの万博を成功

させるためには、様々な準備や対策が必要となります。とりわけ、会場となる横浜市の旧上瀬谷通信施設の基盤や公園整備をはじめ、会場までの交通輸送アクセス、水道や下水道などのライフライン、再生可能エネルギー活用などの都市基盤整備を着実に進めていくことが必要不可欠であると表明しています。

2024年オリンピックイヤーとなる今年、我々神奈川工業会の事業としてGREEN×EXPO 2027に参画できないか検討したいものです。また会員企業である大手企業の協力を得て委員会事業を盛り上げていきたいので是非ご協力をお願いします。

1946年に京浜工業地帯の一角を担う神奈川区で「ものづくり」の企業が70社ほど集まりスタートした神奈川工業会ですが、旧日本鋼管京浜製鉄所の高炉の火が9月に消えました、これからは煙の無い工業地帯に変わっていくのでしょうか、一方で円安により工場等の日本回帰もささやかれています。時代の変化に対応しつつ、活気ある京浜工業地帯の発展に向け、是非誘致等を積極的にお願したいものです。

当工業会も今では様々な業種が集まり会を運営しております。

「会員同士の力を合わせてお互いが繁栄し、地域社会の発展に寄与していく」の当初の方針を変わりなく受け継ぎ、楽しく、やりがいのある会の運営を行っていきたくと思います。

昨年はスタートこそコロナの影響を受けましたが、3年ぶりに全ての委員会活動が再開しました、今年も引き続き活発な委員会活動を行いますので、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

本年が会員の皆様にとって良き一年でありますよう、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

神奈川工業会

会長 桐ヶ谷修幸



令和6年の年頭にあって

あけましておめでとうございます。皆様が新たな年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

全ては市民の皆様のために。市民の皆様の「声」を大切にすることを第一に、中学3年生までの小児医療費無償化や、中学校での全員給食開始に向けた取組の推進など、「子育てしたいまち」の実現に向け、施策を前進させてきました。

令和6年は、市民の皆様の心豊かな生活の実現、横浜の持続的な成長・発展に向けて、更に歩みを進めてまいります。

日々時間に追われる子育て世代の皆様の「ゆとり」を創出し、「子育てしたいまち」を更に実感していただけるよう取り組むとともに、子育て世代を呼び込み、横浜の持続的な活力向上につなげていきます。また、医療・福祉の充実や災害対策、インクルーシブなまちづくりを進め、社会経済情勢に対応した支援もしっかりと進めます。

国内外の人を惹きつけるまちづくりにも弾みをつけます。世界屈指の水際線の魅力を一層磨き上げ、道路や公園などの公共空間を一層活用し、横浜ならではの魅力を高める新たな仕掛けを打ち出していきます。

そして、行政手続きのオンライン化をはじめ、市民・事業者の皆様には大きなメリットを実感していただけるよう、DXの取組を一層推進していきます。

今や気候変動は差し迫った危機となり、私たちの生活や社会経済にも多大なる影響を及ぼしています。横浜のかけがえのない環境を将来世代に引き継いでいくために、市民の皆様お一人おひとりの環境に配慮したライフスタイルや、企業価値を高める脱炭素経営への転換をしっかりと後押しし、市民・事業者の皆様と一体となって、「脱炭素化」を強力に推進していきます。

2027年には、環境をテーマとした「GREEN×EXPO 2027」を開催します。この「横浜グリーン博」の成功とその先の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者の皆様の御理解と共感を深める取組を加速させます。

誰もが「住みたい、住み続けたい」と思えるまち。その実現のために、全力を尽くしてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

横浜市長 山中竹春



年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。
令和6年の年頭にあたり、神奈川工業会の皆様方に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年中は、区内企業経営者の皆様におかれましては、コロナが第5類に移行してから経済活動は再開したものの、引き続き舵取りの難しい一年になったことと思います。

そのような中でも、神奈川工業会の皆様には、横浜型地域貢献企業として、地域を意識した経営や社会的事業に取り組んでいただくほか、地域清掃や防犯パトロールに御協力いただくなど、市政及び区政に幅広く御貢献をいただいております。深く感謝しております。

さて、昨年11月には、広報よこはま神奈川区版にて「街を支える神奈川区の工業」と題した特集記

事を掲載させていただきました。普段接点がなかなかない、ハードを支える企業の仕事の一部をご紹介することができました。

読者の方からも好評で、工業活動が神奈川区の大きな魅力であることを、改めて発信することができたと考えております。

今後も引き続き、区民や事業者の皆様、様々な団体や関係機関の思いや力をつなげ、神奈川区のさらなる発展と活性化を図ってまいります。

神奈川工業会の皆様は、行政の良きパートナーとしてとても心強く感じております。引き続き連携を深めてまいりたいと思っておりますので、変わらぬ御協力をお願い申し上げます。

少しずつですが、経済の状況は上向いてきております。雇用・所得環境が改善する下で、今後も緩やかな回復が続くことが期待できそうです。令和6年が皆様方にとって更なる飛躍の年になることを願うとともに、神奈川工業会の益々の御発展を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

神奈川区長

日比野 政芳



年頭のご挨拶

令和6年の輝かしい新春を迎え、会員の皆様をはじめ、神奈川区に居住、就業される皆様には謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、平素から消防行政の円滑な推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

神奈川消防署では、年末年始に消防特別警戒を行うなど365日切れ目なく、区民の皆様や事業所の安全・安心の確保に努めるため様々な事業を推進してまいりました。これは地域や多くの関係団体からのご協力の成果でもあり、深く感謝しております。

さて、近年の災害は多様化・激甚化しており、国内に目を向けますと台風や線状降水帯等による土砂災害や浸水害等の甚大な被害が発生しています。また、昨年は大規模な駐車場火災やトンネル火災など、地域住民の安全・安心を脅かす災害が後を絶たず、5月には新型コロナウ

イルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されましたが、夏季の記録的猛暑の影響などにより、救急需要は引き続き高い水準で推移しています。さらには、関東大震災から100年が経過し、今後発生が危惧される首都直下地震や南海トラフ地震といった巨大地震への防災・減災対策は急務となっていることも実態です。

このような状況下において、消防行政を停滞させることなく、広域的な自然災害などにも的確に対応し、市民の安全・安心を守るため、消防力を十分に発揮する必要があります。

神奈川消防署では、あらゆる災害を想定し消防力を充実させ、多発する救急要請には質の高い救急活動を維持するとともに、地域や関係団体等と連携し地域防災力の向上を図るほか、区内事業所等には防火安全対策に向けた的確な指導等に取り組むなど、区民の皆様が安全で安心してお過ごしできるよう、しっかりと努めてまいります。

むすびに、この一年が、神奈川区の皆様にとって安全で健やかな年でありますよう、心からお祈り申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

神奈川消防署
署長 藤沢直樹



年頭のご挨拶

神奈川工業会会員の皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素から神奈川区内の安全・安心のため警察業務に格別のご支援ご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、闇バイトを実行犯として特殊詐欺や強盗などを敢行する「匿名・流動型犯罪グループ」が台頭するなど、全国各地で民心を不安に陥れる凶悪な事件が相次ぎました。コロナ禍を経て、リモートワークなどの新たな働き方が一気に社会に浸透した一方、「非接触・非対面」が新たな「闇」をも生み出しています。

誰もが自分のことで精一杯という時代に、「力を合わせてお互いが繁栄し、地域社会の発展に寄与する」という方針を掲げ、業種の違いや世代を超えたネットワークを構築し、後

継者の育成にも心血を注ぐ、また、常に「顔の見える形」で汗を流される皆様の姿にこの街に根付く「人々の絆」や成長を続けるパワーの源を見る思いが致します。

警察術科の一つである柔道、講道館の創始者である嘉納治五郎先生の教えに「精力善用・自他共栄」があります。「能力は己のためだけでなく、世のために使う。互いに信頼し、助け合うことができれば自分も世の中の人も共に栄えることができる」まさに皆様の志そのものではないでしょうか。神奈川工業会のさらなる発展、会員各社様の一層のご隆盛を心から祈念申し上げます。

神奈川警察署も、神奈川区の安全安心の担い手として、決して独善に走らず、区内で生活される皆様の声によく耳を傾け、地域の安全・安心の実現のため全力を傾注しなければなりません。近代日本の発展を担った歴史と実績のある神奈川区で皆様とともに仕事ができることを署員一同誇りと心得、一層精進してまいります。是非本年も厳しくも暖かいご指摘ご助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

神奈川警察署

署長 松永安則



年頭のご挨拶

令和6年の新春を迎えるに当たり、神奈川工業会並びに会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から労働災害防止活動をはじめとする労働行政の運営に対しまして、深い御理解と多大なる御協力を賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、貴会では、各種研修会の開催や見学会等の活動を積極的に展開され、行政諸官庁の各種施策の情報提供などにも大変御尽力をいただいていることに改めて御礼申し上げます。

さて、当監督署としましては、「安全で健康に働くことができる環境づくり」を目指して、特に長時間労働の抑制をはじめとする労働条件の確保・改善対策と労働災害防止対策の推進を重点課題と位置づけて取り組んでいるところですが、労働災害の発生件数について歯止めがかからない状況となっています。

昨年当署管内における労働災害

発生状況をみますと、死亡災害が5件発生し、さらに、コロナ感染症を除いた休業4日以上の死傷者数についても、第14次労働災害防止計画の1年目の目標である1%減少には及ばない状況となっています。

令和6年は、労働災害の増加に歯止めをかけるべく、事故の型として多い転倒災害防止対策として「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」、高年齢労働者の労働災害防止対策として「エイジフレンドリーガイドライン」の周知並びにガイドラインに基づく取組を推進するとともに、過労死等の防止やメンタルヘルスの問題への対応のほか、就業形態の多様化や高齢化の進展等により増大が懸念される労働衛生上の様々な課題にも積極的に取り組むこととしております。

新たな年を迎え、今年こそは死亡災害ゼロの達成と、各職場において常に安全第一の精神を尊重しながら作業が遂行されるよう、労働災害防止対策の推進を重点課題と位置づけ、より一層皆様と連携を図りながら取り組んで参りたいと考えております。

本年も、皆様方の御理解、御協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げますとともに、貴会並びに会員の皆様のますますの御発展と御健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

横浜北労働基準監督署
署長 大屋季之

新規入会企業のご紹介

- 社名：小林商工株式会社
- 氏名：代表取締役 小林真一
- 所在地：横浜市神奈川区栄町 20-1 YMPF101
- TEL：045-620-5368
- FAX：045-620-5182
- URL：<https://www.kobasho.co.jp/>



2023年12月に入会させて頂きました小林商工株式会社小林真一と申します。8年前に鶴見区から神奈川区栄町へ移転してまいりました、創業55年余りのボルトナット及び金属機械加工を行っている会社です。同業の内田ボルト様にお誘いいただき入会となりました。

弊社は工場が泉区にある関係上戸塚泉栄工

業会にも所属しておりますと同時に鶴見区での籍が長いものですから鶴見区工業会にも所属しており、非常に調子のいい会社となっております。神奈川工業会の皆様にも調子よく可愛いがっていただけるような存在を目指しておりますので今後とも宜しくお願い致します。

- 社名：株式会社 SEEK
- 氏名：取締役事業部長 荒木 慎吾
- 所在地：横浜市中区吉田町 65 ERVIC 横浜 6F
- TEL：045-264-2510
- FAX：045-264-2520
- URL：<https://seek.vc/>



会員の皆様、はじめまして。2023年10月より神奈川工業会に入会させて頂きました株式会社 SEEK の荒木と申します。

弊社は2006年の創業以来、ホームページの制作及び運用サポートを中心にWEBマーケティングの事業を行ってきました。また、名刺やパンフレットなどの紙媒体の制作も行っております。

WEBマーケティング業界は日々進化・変化しており、5年経つと古いと言われる業界です。

【お客様のために進化する成長企業であり続ける】という企業理念のもと、クライアントの効果最大化に貢献するという強い思いを持って、従業員一同日々業務に励んでおります。

弊社は今まで貴会のような団体に所属したことがなく、様々な業界でご活躍されている会員様との交流を非常に楽しみにしております。

まだまだ若い会社で神奈川工業会会員の皆様には色々と教えて頂くことが多いと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

新規入会企業のご紹介

- 社名：有限会社細谷工業
- 氏名：代表取締役 細谷澄香
- 所在地：横浜市神奈川区入江 2-20-5
- TEL：045-421-4729
- FAX：045-435-0200



弊社は熱絶縁工事業を営んでおります。創立以来発電所およびプラントの配管、機器などの熱管理工事やメンテナンス工事などを施工しております。

主に火力発電所や原子力発電所、ごみ清掃局等のエネルギーや環境問題に対し取り組む、あまり表立っては分からない業種です。火力発電所では、熱というものが発生するものに対して、決められた温度を保つために私たちの職種があります。CO₂やダイオキシン等を軽減するため、潤滑に装置が

まわるようにサポートする仕事もしております。次世代のエネルギーを守っていくことや、地球環境を守っていくために、日々働いております。このような職種もこれからもっと多くの方々に理解していただけたらと思っております。

これからもこの業界を支え、今の、そして、将来の日本のエネルギー施策に支障が出ないように、一生懸命精進して参りたいと思っておりますので、工業会の会員の皆さま方、どうぞよろしくお願いいたします。

- 社名：港興業株式会社
- 氏名：代表取締役 青木 繁和
- 所在地：横浜市神奈川区守屋町 1-2
- TEL：045-453-1411
- FAX：045-453-1413



この度、神奈川工業会に入会しました、港興業（株）代表の青木です。

私達の会社は、浚渫工事・護岸工事・ケーソン据付工事を得意とした海上土木を主体とした会社です。

最近の傾向では、大規模地震やゲリラ豪雨等に於ける大洪水の備えとして、河川の浚渫工事や橋脚の耐震補強工事が増えたように感じております。耐震補強工事では、橋桁の下を最大水深15mまで掘削可能な特殊船舶を所有しており、施工困難箇所の現場で活躍しております。災害時に皆様が安全な

環境になるよう、大手ゼネコン及びマリコン等と協力し貢献できるよう社員一同頑張っております。

先日、初めて神奈川工業会の忘年会に参加させていただき、他業種の皆様の話を聞かせていただき参考になることも多く大変勉強になりました。初対面にもかかわらず、友好的な方々が多く、とても楽しめました。今後も、行事には積極的に参加させていただきたいと思っておりますので宜しくよろしくお願いいたします。

神奈川工業会 令和5年 活動報告

【令和5年賀詞交歓会】

1月26日にホテルプラムで開催し、3年ぶりの開催を寿ぐとともに、新入会員企業の紹介も行うなど、終始活気ある中での歓談となりました。



【横浜市予算等説明会】

横浜市経済局をお招きし、令和5年度の経済関連予算や、企業価値等を高める支援等について説明を受け、企業経営の一助としました。



【ゴルフ大会】

恒例の春秋2回のゴルフ大会を磯子カンツリークラブで開催しました。好天に恵まれ、絶好のゴルフ日和に、参加者も素晴らしいコースを満喫することができました。



【企業見学】

中西議員・藤代議員とともに太陽油脂様を訪問し、秒単位まで管理された手洗の徹底、見学路と作業エリアの分離など食品を扱うということの責任の重大さを教えていただき意義深い企業見学となりました。



【勉強会】

東高島駅北地区の再開発事業について、講師を招き勉強会を実施しました。同地区の将来像を学ぶとともに、地域のまちづくりについて活発な質疑応答がなされました。

【暑気払い】

会員である横浜ビールさんが運営する「厩の食卓」で開催し、会員企業の従業員も交え、約50名が参加しました。ビール飲み放題に加えて、もう一つのお楽しみが大抽選会！

会員企業各社の協賛により、今回もたくさんの景品が集まり、抽選は空くじなしとあって、会場は大いに盛り上がりました。

